



イトウシンポジウム

「イトウ釣りの未来を考える」

絶滅危惧種「イトウ」の釣りとの両立は可能か？

幻のイトウと呼ばれて長い年月がたつ、釣り人が考える保護の手段、手法はなんでしょう？
今、イトウに思いを寄せる釣り人と共に将来にわたって「イトウ釣り」ができる環境を残すことができるか？

会 場 北海道自治労会館 札幌市北区北6条西7丁目5-3

TEL 011-747-1457

月 日 平成24年6月30日（土曜日）

時 間	内 容	備 考
13:00~	受付（開場）	
13:30~	開会のあいさつ	会長 小山内 浩一
13:35~	『猿払イトウ保全協議会について』	会長 小山内 浩一
13:45~	『猿払川下流域での イトウ釣りについて』	道立水産孵化場 川村 洋司 氏 フライフィッシングガイド
14:30~	『北海道のイトウ釣り』	千葉 貴彦 氏
14:45~	パネルディスカッション	コーディネーター 猿払イトウの会 山本 牧
15:30~	閉会のあいさつ	副会長 三浦 高志（猿払村副村長）

参加料 無 料（ただし、先着50名）

参加申込 6月25日までに「猿払イトウ保全協議会のHP」のお問い合わせフォーム <https://www.sarufutsu-icc.gr.jp/inquiry/index.html> から（お問い合わせの内容に“札幌イトウシンポ参加”と記入）またはFAX/01635（2）3129（氏名・住所・メールアドレス・電話番号を記入）でお申し込み願います。

主催/問合せ 猿払イトウ保全協議会（会長 小山内浩一）電話01635(2)3614

// 東京事務所（王子製紙 植林部 辻本篤郎）03(3563)4567

共催/猿払イトウの会

【開催にあたり】

猿払イトウ保全協議会は、平成21年12月、猿払イトウの会（北海道宗谷郡猿払村）、研究者、猿払村、王子製紙と産・官・学・民協働により、日本最大の淡水魚で環境省のレッドリストの絶滅危惧種“イトウ”を保全するため設立。設立にあたり、王子製紙は猿払社有林（約17,290ha）に、イトウ保全のための環境保全林（約2,660ha、およそ東京ドーム（約4.67ha）の570倍）を設定した。設立以来、主な活動は保全地域である猿払村で行っていますが、猿払村まで足を運ぶことが出来ない方々に少しでも“幻と呼ばれるイトウ”のことや、協議会のことを知っていただこうと、この度のシンポジウムを企画しました。

【猿払イトウの会について】

猿払イトウの会は、「永遠（いつ）までも天然のイトウが釣れる川を残そう」をテーマに、イトウを愛する人たちと協力して、イトウをはじめ在来の魚類および河川とその周辺環境の保護、自然と人の共生、地域社会や経済活動とイトウが共存できるよう問いかけ、会員はもとより人々が憩える地域づくりを目指し活動しています。

これからも「イトウ」とその生息する環境の大切さを共に学び、情報の発信を通して協力者を増やし、後世（未来の子供たち）に、猿払を流れる川で「あの大きな魚、幻といわれるイトウ」を釣れる醍醐味を伝えることを楽しみに「会」として進んでいきます。

*事情により内容が変更になる場合もあります。

<http://www.sarufutsu-icc.gr.jp/>



猿払イトウ保全協議会